

松戸市スポーツ施設整備方針 概要版

2. 本市のスポーツ施設の現況

(1)市内の公共スポーツ施設一覧

施設分類	番号	名称	施設名	建築年又は設置年	経過年数	利用区分		備考
						一般	団体	
体育館	①	市民交流会館	屋内運動場全面	H28	7	○		屋内運動場(1292㎡)
	②	青少年会館	体育室	S51	48	○		体育室 (460㎡)
	③	柿ノ木台公園体育館	競技場	H11	24	○		競技場(1169.44㎡) 、多目的室、会議室、研修室、トレーニングルーム
			体育室	H11	24	○		
			プレールーム	H11	24	○		
	④	和名ヶ谷スポーツセンター	体育室	H8	27	○		体育室(1272.21㎡)、多目的室、和室
			小体育室	H8	27	○		
	⑤	松戸運動公園	体育館競技場全面	S49	49	○		競技場(1487.5㎡) 、多目的室、トレーニング室
			卓球室	S49	49	○		
			小体育室1	S49	49	○		
			小体育室2	S49	49	○		
			弓道場	S49	49	○		
	⑥	東部スポーツパーク	体育室	S55	43	○		体育室(802㎡) 、会議室、和室
	⑦	小金原体育館	競技室	S59	39	○		競技場(1027.46㎡)、プレールーム、和室、会議室
			体育室	S59	39	○		
	⑧	常盤平体育館	競技室	S61	37	○		競技場(766.12㎡)、プレールーム(151.28㎡)
			体育室	S61	37	○		
			卓球室	S61	37	○		
	⑨	クリーンセンター内スポーツ施設	体育室	S55	43	○		競技場(700㎡)
武道場	①	松戸運動公園	剣道場	S46	52	○		延床面積3348.53㎡、会議室・和室・事務室
			柔道場	S46	52	○		
			多目的室1	S46	52	○		
			多目的室2	S46	52	○		
プール	①	和名ヶ谷スポーツセンタープール	プール	H8	27	○		温水25×5コース・幼児用プール・流れるプール
	②	松戸運動公園		S46	52	○		50m×8コース・幼児用プール
	③	東部スポーツパーク		S55	43	○		25m×7コース・幼児用プール
	④	新松戸プール		S57	41	○		50m×8コース・幼児用プール
球技場	①	古ヶ崎スポーツ広場	サッカー場	S37	61	○		天然芝
	②	千駄堀多目的スポーツ広場		H25に全面改修	10	○	○	
	③	紙敷スポーツ広場		H4	31	○		
	④	矢切河川敷グラウンド		－	－	○		
	⑤	主水新田少年サッカー場		－	－	○	○	少年サッカー等 天然芝
	⑥	松戸運動公園		S51	47	○		人工芝、照明有、陸上競技場と兼用
庭球場	①	東部スポーツパーク	テニスコート	S55	43	○		ハードコート
	②	クリーンセンター内スポーツ施設		S55	43	○		砂入り人工芝
	③	新松戸庭球場		S58	40	○		ハードコート
	④	中央公園庭球場		S41	57	○	○	砂入り人工芝
	⑤	栗ヶ沢公園庭球場		S47	51	○	○	砂入り人工芝
	⑥	金ヶ作公園庭球場		S37	61	○	○	砂入り人工芝
	⑦	紙敷庭球場		S59	39	○	○	ハードコート
野球場	①	松戸運動公園	野球場	S47	51	○		センター120m・両翼90m・夜間照明
	②	東部スポーツパーク		S56	42	○		102m・90m
	③	古ヶ崎スポーツ広場		S37	61	○		野球・ソフトボール
	④	千駄堀多目的スポーツ広場		H25に全面改修	10	○	○	
	⑤	矢切河川敷グラウンド		－	－	○		
	⑥	紙敷スポーツ広場		H4	31	○		
陸上競技	①	松戸運動公園	陸上競技場	S51	47	○		400mトラック・3種公認
アーバンスポーツ	①	松戸運動公園	スケートボード場	R5	－	○		200㎡
	②	青少年会館	3×3	R6	－	○		1面(270㎡)
その他	①	市民交流会館	グラウンド	S56	42	○		グラウンドゴルフ
	②	古ヶ崎スポーツ広場		S37	61	○		グラウンドゴルフ
	③	千駄堀多目的スポーツ広場	相撲場	H25に全面改修	10	○	○	グラウンドゴルフ、ソフトボール、サッカー等
	④	松戸運動公園		S60	38	○		屋根付
	⑤	六高台スポーツ広場	グラウンド	H3	32	○		グラウンドゴルフ、ゲートボール等
	⑥	六実スポーツ広場		－	－	○		グラウンドゴルフ、野球、テニスコート
	⑦	高塚新田スポーツ広場		H1	34	○		ゲートボール

※2023年4月現在

1. 概要

松戸市では、令和4年11月に、市民のだれもが、いつでも、どこでもスポーツに親しむことができるよう、「松戸市スポーツ推進計画」を策定しました。計画の推進にあたっては、既存の公共スポーツ施設の維持保全とともに、多様化する市民のニーズに対応した施設の整備と充実が、課題となっています。このような課題を踏まえ、既存の公共スポーツ施設の現状を調査・分析し、現状の市民のニーズに対応した公共スポーツ施設の整備方針を示すことを目的とします。

(2)稼働率

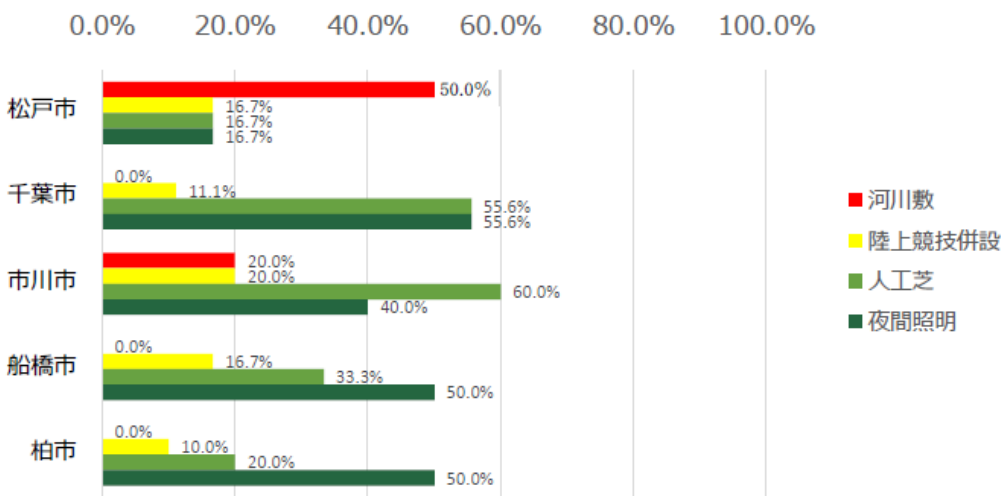
バスケットボール、バレーボール、バドミントンといったコートに一定の広さを必要とする屋内競技を行える体育館の稼働率が最も高くなっています。屋外スポーツでは、庭球場の稼働率が高くなっています。その他、陸上競技場は、施設数が1つということと複数種目を抱えているなどのことから、稼働率が高くなっています。

施設分類	名称		令和元年度	令和3年度	令和4年度	平均
体育館	運動公園体育館	競技場半面A	95.0%	改修工事	89.0%	91.4%
	運動公園体育館	競技場半面B	92.0%	改修工事	88.0%	
	小金原体育館	競技場半面1	91.0%	93.8%	93.0%	
	小金原体育館	競技場半面2	94.0%	95.0%	92.0%	
	常盤平体育館	競技場半面1	94.0%	95.3%	93.0%	
	常盤平体育館	競技場半面2	88.0%	94.4%	91.0%	
	柿ノ木台公園体育館	競技場半面A	94.0%	94.7%	95.0%	
	柿ノ木台公園体育館	競技場半面B	89.0%	93.0%	92.0%	
	東部スポーツパーク	体育室	92.0%	99.7%	99.4%	
	クリーンセンター	体育室	60.4%	69.0%	64.5%	
	市民交流会館	屋内運動場半面A	97.8%	97.2%	97.8%	
	市民交流会館	屋内運動場半面B	98.1%	97.0%	97.8%	
武道場	運動公園武道館	剣道場	73.0%	69.1%	68.0%	60.7%
		柔道場	62.0%	55.7%	63.0%	
		多目的室	55.9%	48.8%	50.8%	
庭球場	栗ヶ沢公園庭球場	テニスコート	90.0%	91.8%	93.4%	82.7%
	金ヶ作公園庭球場	テニスコート	85.1%	87.5%	86.9%	
	松戸中央公園庭球場	テニスコート	75.5%	85.2%	86.0%	
	新松戸庭球場	テニスコート	79.0%	92.2%	93.4%	
	紙敷庭球場	テニスコート	65.3%	83.0%	73.0%	
	東部スポーツパーク	テニスコート	70.6%	81.2%	72.6%	
	クリーンセンター	テニスコート	78.5%	85.8%	79.9%	
野球場	運動公園	野球場	58.0%	59.8%	41.0%	43.8%
	東部スポーツパーク	野球場	34.3%	36.8%	32.9%	
陸上競技場	運動公園	陸上競技	82.0%	93.9%	91.0%	89.0%

※令和2年度は新型コロナウィルスの影響により休館期間があったため未掲載

(4)他市との比較(球技場)

松戸市では、6箇所の球技場のうち、3箇所(古ヶ崎河川敷スポーツ広場、主水新田少年サッカー場、矢切河川敷グラウンド)は河川敷に設置されており、浸水のリスクが高く、トイレや更衣室も設置できません。松戸市では河川敷に設置された施設が50.0%にも上る一方、人工芝や夜間照明が設置されている施設は、1施設16.7%にとどまり、他市と比べ松戸市の施設環境が整っていないことが把握されました。



(3)抽選率

最も高い抽選倍率を示している施設は、約20倍から約45倍を示している庭球場であり土日祝では最大217.3倍にもなります。続いて高倍率な施設は、4.6倍から17.8倍を示している野球場でした。施設ごとの抽選倍率を分析することで、特に庭球場と野球場において利用者の需要が非常に高いことがわかります。

施設分類	名称		令和元年度	令和3年度	令和4年度	最大
体育館	松戸運動公園体育館	競技場半面A	3.65	改修工事	2.81	28.00
	松戸運動公園体育館	競技場半面B	3.40	改修工事	2.71	21.80
	小金原体育館	競技場半面1	5.80	9.35	7.88	119.00
	小金原体育館	競技場半面2	5.25	9.45	7.34	121.00
	常盤平体育館	競技場半面1	5.35	7.79	7.48	71.00
	常盤平体育館	競技場半面2	4.40	7.82	7.48	68.00
	柿ノ木台公園体育館	競技場半面A	9.00	11.28	11.38	63.00
	柿ノ木台公園体育館	競技場半面B	8.75	10.46	10.82	120.00
	東部スポーツパーク	体育室	4.70	7.50	7.87	29.00
	クリーンセンター	体育室	2.15	5.18	4.39	16.50
	和名ヶ谷スポーツセンター	競技場右半面	4.80	0.52	1.32	24.20
	和名ヶ谷スポーツセンター	競技場左半面	4.85	0.49	1.25	24.80
	市民交流会館	屋内運動場半面A	3.00	10.26	9.97	58.50
	市民交流会館	屋内運動場半面B	3.25	9.17	9.09	41.00
球技場	古ヶ崎河川敷スポーツ広場	サッカー場	2.41	3.59	4.36	8.00
庭球場	栗ヶ沢公園庭球場	テニスコート	30.22	31.28	31.88	130.00
	金ヶ作公園庭球場	テニスコート	39.32	41.90	44.71	161.80
	松戸中央公園庭球場	テニスコート	42.61	43.58	44.07	217.30
	新松戸庭球場	テニスコート	21.68	25.27	26.91	122.70
	紙敷庭球場	テニスコート	6.61	7.06	7.42	19.80
	東部スポーツパーク	テニスコート	17.01	19.71	20.26	76.00
	クリーンセンター	テニスコート	33.18	21.44	19.53	54.00
野球場	古ヶ崎河川敷スポーツ広場	野球場	4.60	4.88	5.20	38.00
	松戸運動公園	野球場	12.24	13.10	12.32	71.70
	東部スポーツパーク	野球場	9.59	17.81	14.31	54.50

※数値は年平均(令和元年度は2か月分の平均)
※土日祝は高倍率

(5)アーバンスポーツ

令和5年4月松戸運動公園に、スケートボードパークがオープンしましたが、スケートボード専用のパークであることから、BMX、ボルダリングなどの他のアーバンスポーツを行えません。今後、多くの市民に何らかのスポーツに親しみ、進んで実践してもらうためには、若者を中心に人気を集め、愛好者、競技人口が増えているアーバンスポーツの振興にも積極的に取り組んでいく必要があると考えられます。また、市内在住の佐々木元選手(2019年W杯優勝、2021年世界選手権準優勝)、荘司ゆう選手(2023年W杯優勝)の2選手が、過去3年間のBMX世界大会で優勝しており、特にアーバンスポーツと親和性が高い街であるといえます。

大会名	2023 UCI BMX FREESTYLE WORLD CUP		2022 UCI URBAN CYCLING WORLD CHAMPIONSHIP		2021 UCI URBAN CYCLING WORLD CHAMPIONSHIPS	
競技名	フラットランド		フラットランド		フラットランド	
1位	荘司ゆう	日本／松戸市	佐々木元	日本／松戸市	M.Dandois	フランス
2位	早川起生	日本	伊藤真人	日本	佐々木元	日本／松戸市
3位	Prevost	カナダ	早川起生	日本	A.Jumelin	フランス

3. 分析・課題

分析の結果、抽出された課題等をまとめると、以下の表のとおりとなります。特に、施設整備により解決しなければならない項目を黄色で表示しています。

対象施設		球技場	庭球場	野球場	アーバン スポーツ	体育館	武道場	陸上競技場
対象競技		サッカー ラグビー	硬式テニス ソフトテニス	硬式野球 軟式野球	BMX クライミング 3×3	バスケットボール バレーボール 卓球 ダンス	柔道 剣道	陸上競技 サッカー ラグビー
種 目 境 別 の	競技人口/施設収容力 (倍/h)	125.74	226.34	81.83	-	94.79	39.29	40.90
	その他の課題	河川敷の浸水 グラウンドの状態	-	硬式野球場として 利用できない	-	空調設備がない	-	-
施設の 利用状況	稼働率	-	80%以上	30%以上	-	90%以上	66.2%	80%以上
	抽選倍率	-	平均45倍程度	平均15倍程度	-	12倍以下	-	-
外 分 部 析 環 境	民間スポーツ施設 (施設数)	1	13	1	1	0	4	0
	他市 比較	行政人口あたり の保有施設 (%) 高い	63.0% 低い	145.2% 高い	-	83.6% 低い	31.5% 低い	89.9% 低い
	新しい潮流	-	-	-	社会の関心が 高まっている	-	-	-
整備の必要性		○	○	○	○	-	-	-

4. 整備場所の候補

新たなスポーツ施設の整備に必要な規模等踏まえて、活用の可能性のある候補地をまとめると次のとおりです。

区分	場所	施策案	種目
市有財産	旧根木内東小学校跡地	新規整備	サッカー、ラグビー、アーバンスポーツ
	新松戸終末処理場跡地	新規整備（拡張+改修）	テニスコート
私有地	候補地なし（購入・賃借）	×	×

（1）旧根木内東小学校跡地

旧根木内東小学校跡地は、平成17年度の閉校後、グラウンドが有効活用されていない、体育館等は老朽化が進む等、跡地利用が課題となっています。当該地の敷地面積は、約17,000㎡を有しており、サッカー（ラグビー）の公式戦を開催できるフィールドとともに、BMXやボルダリングなどの施設整備が可能です。さらに、より多くの駐車台数を確保することが必要な場合、旧根木内東小学校の北東に隣接する民地を確保することも可能性として十分考えられます。

周辺環境	
住所	千葉県松戸市根木内598
面積	約17,000㎡
区域区分	市街化調整区域

（3）市街化調整区域

硬式野球場を新たに整備しようとする場合、広大な敷地面積が必要です。しかし、公共用地の中に、それだけの広さを有する土地がありません。そのため、硬式野球場を新たに整備する場合、新たな用地を民地から買収し、確保する必要があります。その場合、地権者交渉などのために相当の期間とともに、用地買収費も含めた財政負担が必要です。一方、現在の松戸運動公園野球場を拡張し、硬式野球にも対応する球場に改修することも可能です。ただし、松戸運動公園の大規模な改修の検討が必要となります。

5. まとめ

施設ごとの主な課題や整備方針、整備箇所をまとめると次のとおりです。

対象施設	対象競技	主な課題	整備方針	整備箇所
球技場	サッカー	専用施設が無く、多くが河川敷に設置されており、浸水リスクがあり、トイレや更衣室などの付帯設備も設置できない。	・新規施設整備 ・既存施設の改修	旧根木内東小学校跡地 （第4章3）
	ラグビー			
アーバン スポーツ	BMX	社会的関心が高まっている。 施設が整っていない。	・新規施設整備	江戸川河川敷
	クライミング			青少年会館 （令和5年度整備済）
	スケートボード			
	3×3			
庭球場	硬式テニス ソフトテニス	稼働率・抽選倍率が共に極めて高く、需要に応えられていない。	・新規施設整備	新松戸終末処理場跡地 （第4章4(1)）
野球場	硬式野球 軟式野球	市内に硬式野球の公式戦を開催できる施設がない。	・新規施設整備 ・既存野球場の改修	調整区域（未定） （第4章4(2)） 松戸運動公園野球場 （平成29年度整備済）
体育館	バスケットボール	避難所としての利用や熱中症への対策が不十分である。	・空調設備の整備 ・バリアフリー対策 ・老朽化対策	松戸運動公園体育館 小金原体育館 （令和5年度整備実施） 常盤平体育館 （令和6年度整備実施予定） 柿ノ木台公園体育館
	バレーボール			
	卓球			
	ダンス			
武道場	柔道 剣道	特になし。	充足	松戸運動公園武道館 （令和4年度整備済）
陸上競技場	陸上競技	稼働率が極めて高い。	・併用している競技の 新規施設整備	松戸運動公園陸上競技場 （令和2年度整備済）
学校施設	サッカー・ ソフトボール等	夜間照明の設置が他市と比べて遅れており、活用の余地がある。	・学校施設開放事業の 環境整備の充実	夜間照明設備の設置 （第4章4(3)）
多目的 スポーツ広場	サッカー・ グラウンドゴルフ等	－	・既存施設の改修	千駄堀スポーツ広場他